



地域公共人材の資格制度

令和5年度「初級地域公共政策士」資格取得のための科目認証制度を開講

自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等を対象に、地域公共人材として資格取得を目指す社会人受講生を募集します！

琉球大学では、「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」の提言を受け、新たな価値を創造できる人材や国際性豊かな人材の育成を広く社会人向けに開講しています。令和元年に、これら科目の一部が一般財団法人地域公共人材開発機構(COLPU)の資格制度「初級地域公共政策士」の科目認証制度に認定されました。

「初級地域公共政策士」とは、自治体職員、NPO関係者、公共に関わる企業の担当者等の地域公共人材*1を対象に、地域課題解決に対して実務的なプロジェクトスタッフやプロジェクトのサブリーダーとしての実践的能力を認定する職能資格制度です。なお、認証対象科目は全て本学の正規科目(オンライン)になっています。

*1地域公共人材：協働型社会において、地域社会の共通課題の解決のために、職業やセクター、組織という分断の壁を乗り越えて、パートナーシップを結びながら、協働できる担い手。

令和5年度「初級地域公共政策士」資格取得のための科目認証制度一覧

No.	科目名	開講形式	概要	教育要素 取得要件
1	琉大特色・地域創生特別講義V「政策立案能力強化プログラム」	後学期集中 オンライン (日曜・5日)	国連の持続可能な開発目標(SDGs)を基準として、2030年に定められた達成目標から地域的な課題の発見のために地域のあるべき姿を踏まえ、地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見することで、現実に即した政策立案に取り組む。	政策研究の基礎 知識
2	総合特別講義IX「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」	前学期集中 オンライン (土曜・5日)	地域社会の課題の共有に向けた対話の場である「沖縄式地域円卓会議」のマネジメントを行える人材を養成するため、ケーススタディを中心に課題共有の手法を学修する総論的な内容を扱う。	必修科目
3	実践経済学V「ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論」	後学期集中 オンライン (土曜・5日)	社会的インパクト投資の概論を踏まえた上で、その方法の一つであるソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)について講義とグループワークにより具体的な進め方を実践的に学修する。	政策の得意分野 づくり 【ソーシャル ファイナンス】
4	総合特別講義VI「クラウドファンディング実践講座」	前学期集中 オンライン (土曜・5日)	地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達手法である「クラウドファンディング」という手法で、商品開発、サービス提供などの事業プランニングの手法を学修する。	選択必修科目 (3科目から2科目を選択)
5	総合特別講義V「DX(デジタルトランスフォーメーション)による地域課題解決」	後学期集中 オンライン (日曜・5日)	DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用による地域社会が抱える様々な課題の解決を担う、地域公共人材養成を目的とする。具体的には、地域課題解決にDXををどのように適用するかについてアイデアソンで検討し、グループで提案書を作成する。	
6	総合特別講義VIII「ファシリテーションの技法と地域振興」	前学期集中 オンライン (日曜・5日)	地域振興及び地域課題解決に活かせるファシリテーションの考え方や技法について座学とグループワークを通して詳しく学ぶ。これらを通して、地域振興や地域課題解決の現場で実践できるようになるための能力を身に付ける。	
7	キャリア関係科目「地域企業(自治体)お題解決プログラム」	前・後学期 オンライン (毎週火曜日)	沖縄県内市町村(自治体)が抱える地域課題について、ヒアリングとフィールドワークを踏まえ、実際に課題解決に向けた取り組みを提案することで、これからの社会に求められる社会人基礎力やキャリア観の醸成を図る。	政策基礎としての 社会人基礎力
8	総合特別講義VII「コミュニティ・プロデューサー養成講座」	後学期集中 オンライン (土曜・5日)	マルチステークホルダーをつなぎ、地域を元気に盛り上げる能力「プロデュース能力」を高めるための実践的な内容を学修する。また、米国オレゴン州ポートランドをモデルに、課題抽出やビジョン策定などの手法も学習する。	選択必修科目 (4科目から1科目を選択)
9	【新設】総合特別講義IV「持続可能な食・農・観光の連携による共創の場づくり」	前・後学期集中 オンライン (土曜・5日)	沖縄の食・農業・観光における現状と課題について学習し、地域住民・自治体・企業・大学などの多様なステークホルダーが、食品・畜産・農業の高度連携によって資源循環を実現する持続可能な共創の場づくりについての提言に取り組みます。	

※「初級地域公共政策士」の資格取得には、上記プログラムのうち必修科目と選択科目の計5科目の修了が必要です。この他、一般財団法人地域公共人材開発機構が開講する「初級特別講義(政策的思考)」のeラーニング受講・修了が必要です。

各科目の詳細や開講日など、最新の情報は下記のWebページでご確認ください。
(令和5年度版)

https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/?page_id=1117

以下の日程にて、令和5年度「初級地域公共政策士」資格取得のための科目認証制度 社会人向け説明会をオンライン（Zoom）で開催します。

○日時：令和5年3月21日（祝・春分の日）14時～15時

○形式：オンライン（Zoom）による説明会

○概要：①初級地域公共政策士資格制度について、②対象科目の受講について 等

※参加に当たっては事前登録が必要です。3月20日（月）までに、本資格制度Webページ（チラシ表紙下部）内の「説明会申込」フォームからお申込みください。

受講申込方法、受講申込〆切、担当窓口・お問い合わせ先

【受講申込方法】

本資格制度Webページ（チラシ表紙下部）内の「お申し込みについて」フォームからお申込みください。フォームの内容を事務局で確認後、受講方法や受講料等のご案内を返信いたします。

【受講申込〆切】

令和5年3月31日（金）12：00まで

【担当窓口・お問合せ先】

琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係

TEL：098-895-8019

E-mail:chikiren@acs.u-ryukyu.ac.jp

地域公共政策士とは

政策課題に対してプロジェクトリーダーとしてチームマネジメント力を備えて、課題解決を遂行していく力を「資格」として獲得した人物。地域公共政策士は、異なる職業分野の垣根（セクター）を越えて、地域の公共的活動や政策形成をコーディネートし課題解決を導くことができ、こうした人と人之間にある公共を発信し、リードしていく人材として活躍していくことが期待されている。

この資格には、「初級地域公共政策士」（level.6 学士レベル）と「地域公共政策士」（level.7 修士レベル）の2種類があり、プログラムの難易度や学習時間が異なる。

平成24年3月の地域公共政策士第1号が誕生以降、初級地域公共政策士559名、地域公共政策士39名を輩出している（令和4年3月末現在）。

【「地域公共政策士」資格教育実施機関一覧】

京都大学、琉球大学、京都府立大学、福知山公立大学、同志社大学、京都産業大学、京都文教大学、京都橘大学、龍谷大学、佛教大学、京都光華女子大学、京都府立林業大学校、グローバル人材開発センター

※令和4年3月末現在